

# 観光ガイド通信

2022.1.20 NO.9 新春号

(公社)上田地域シルバー人材センター 観光ガイド班

## HAPPY NEW YEAR! 2022

昨年中は大変お世話になりました。  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。  
この冬は、厳しい寒さが続きますが、皆様お元気で過ごしてはいかがでしょうか？  
今年も、お身体を第一優先で、活動していきましょう。



大正寺 冬のホタル

ご報告

元気で講習会「レイラインがつなく太陽と大地の

聖地 ～レイラインと水の信仰～」 12月17日(金)実施

今年度第2回目となる講習会は、講師に「上田市教育委員会 谷口弘毅氏」をお迎えして生島足島神社～泥宮～中禅寺～塩野神社～鞍が淵～とっこ館 を巡りました。15名の班員が参加し、雨の中でしたが、霧の独鈷山や塩野神社も幻想的で、楽しく勉強いたしました。詳細は、参加者の感想文(別紙)をご覧ください。



伝説が生まれた鞍が淵



塩野神社鳥居前にて 谷口講師を囲んで溢れる笑顔！

## ❄️ 観光ガイド班 今後の予定 ❄️

### ❖ 1. 観光ガイド班総会について

例年は、3月に開催しております総会ですが、令和4年度は6月開催予定です。  
【2022年6月9日木曜日 13:30～シルバー人材センター大会議室 予定】

### ❖ 2. ガイド活動について

受注ガイド … 2月、3月に県内中学校・高校からの予約が入っています。  
上田城常駐ボランティアガイド…3月から再開予定です。(詳細は未定です)  
※ガイド実施の場合は、コロナ感染対策を徹底して行いましょう。  
※現在、コロナ警戒レベル4に上がった時点でガイド班の活動を休止しておりますが状況・学生等を考慮して活動を行う予定です。

### ❖ 3. 10期生の研修検定について

令和4(2022)年1月13, 14日に10期生12名の皆さんの「城下町コース実地検定」の予定でしたが、13日に全県一斉にレベル4以上となってしまい、急遽中止にさせていただきました。一生懸命に準備してくださった皆様にご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありません。

城下町が終われば、いよいよ「日本遺産」構成文化財の研修検定が始まります。コロナが収束した折には、「日本遺産」関連のガイドが多くなることを期待しての研修検定です。次は「別所三寺」、「信州の鎌倉 塩田平」が続きます。「真田の郷」は来年の予定です。

#### ◆皆様にお願ひ◆

「毎月20日まで」に翌月のシフトの連絡をそれぞれの班長さんまで連絡を入れてください！  
お手数ですがどうぞよろしくお願いいたします。

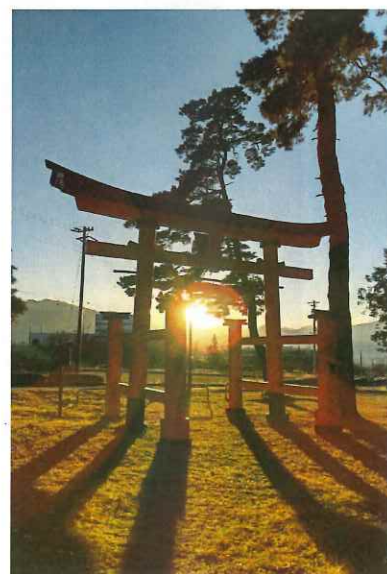
#### 10期生の上田城ボランティアガイド体験の感想の 一部です

…ご案内中は「あれはご説明したかな?」「なにか言い忘れたことはないかな?」など自問自答しながらのご案内でしたが、ガイド終了後お客様から頂いた拍手にこれまでの不安が払拭され喜びを感じる事が出来ました。  
…今後は、一つ一つの説明内容を更に深掘りして新たな発見と知識の習得による説明内容の充実に向けていきたいと思ひます。関係者の皆さん、これまでのご指導ありがとうございます。そして10期生の皆さん、このガイド班活動で生きがいの一部を見つけ、共に一歩一歩前進していきましょう。

#### 編集後記

2021年にもコロナ感染拡大との闘いでしたが、少しの収束の間に元気で講習会を2回開催・ボランティアガイド活動も出来ました。ありがとうございました。

ガイド班事務局 大田・小林



御旅所 撮影:森由美子さん

## 第2回元気です講習会に参加して

ガイド班 阿部 利行

12月17日第2回元気です講習会に参加しました。「レイラインと水の信仰」がテーマです。講師の上田市教育委員会谷口弘毅氏を加え総勢16名が参加しました。「生島足島神社」の説明時には激しく雨が降っていて、さすが水の信仰の地、龍神様がお出迎えしてくれているのかなと思いました。講師の軽妙な口調に魅了されながら、次の「泥宮」へ向かいました。相乗りでの移動です。事務局の大田さんの車に、西澤一夫さん、森由美子さんと私の3人同乗させていただきました。森さんは中塩田にお住まいなので行程中は道に迷うことなく移動できました。(3人とも8期の同期です。)

「泥宮」では、冬至の時期にわずかではあるが太陽が山に沈む前、拝殿の格子の間から光がさすことがあると講師の説明がありました。日頃の疑問や地元の伝承などの話のなかから、レイラインには表と裏があるということをお話してくれた参加者もいて、そのとき表鬼門と裏鬼門の話を引き合いに出され妙に納得してしまいました。「泥宮」では雨はほとんどやんでいましたが、眺望は悪く近隣の山々は雲に隠れて見えませんでした。

次に「中禅寺」に向かいました。かわいらしい仁王像を見ながら、薬師堂に参拝し、ご住職の好意によりお堂内部に入らせていただき薬師如来坐像と神将を間近でみられた感激が忘れられません。余韻に浸りながら、流鏝馬の道を歩きながら「前山塩野神社」に着きました。鬱蒼と茂った森の中に楼

閣造りの二階建て拝殿が見えてきました。谷口講師は磐座と水の信仰についての説明をされ、太鼓橋を渡り彫刻の見事な本殿を眺め悠久の時間を堪能いたしました。

次に向かった先は「鞍が淵」です。聞きなれない場所で、道中も道の真ん中に大きな水たまりがあるなどまるでサファリラリーのようでした。小泉小太郎伝説の地で、沢山湖のすぐ下でした。中学の遠足で沢山湖に来たことがありましたが、そのときの記憶がありません。足元には落ち葉の絨毯が敷き詰められ雲の上を歩いているような不思議な感覚でした。巨岩の間を清水が流れ目の前に沢山湖の排水溝が見え、まるで龍が大きな口を開けているような感じでした。森さんが「蛇骨石」を見つけみんなに見せてくれました。

講習会最後の目的地「とっこ館」に着きました。内部はクリスマスの飾りつけがなされ、上田市内の様々な鉱物標本があり、蛇骨石、✕形をしたちがいで石なども展示されていました。最後に事務局の大田さんから参加者全員にクリスマスプレゼントが手渡され、このハプニングにみんな感激ひとしおでした。帰途に就くため外に出たとたん雲の間から太陽が顔をのぞかせ、まさに日本遺産の「レイラインがつなぐ太陽と大地の聖地」だと感じました。

講習会の谷口講師並びに企画・運営していただいた事務局の大田春佳さん、小林綾乃さんに感謝いたします。次の講習会を楽しみにしています。

当日は、上田市教育委員会の谷口さんに塩田平の日本遺産の構成文化財である生島足島神社、泥宮、塩野神社、中禅寺、鞍が淵を案内して頂いた。

そのうち泥宮、生島足島神社、泥宮は塩田平レイラインの構成文化財です。

レイライン<ley line>とは、古代の遺跡の多くが直線的に並ぶように造られており、その遺跡群が描く直線をさすと言われているとのこと。

塩田平のレイラインは女神岳、泥宮、生島足島神社、プラス旧信濃国分寺跡等構成文化財が、夏至の日の出に向かって直線状にならんでいるとのこと。

塩田平のレイラインは夏至及び冬至の太陽と大地の神秘的な光景を造ったものであり、その意味ではレイライン<ley line>でなく ray line>であるとも思われます。

谷口さん、有難うございました。

<文責 西澤一夫>

「レイラインと水の信仰」というテーマで、谷口講師に  
朝から雨の中を ご案内いただきました。

私は、一番レアな場所を一番物語的は「鞍が淵」と  
蛇骨石に興味がありました。

塩田平は雨と何より願いの水で大切にされた土地柄  
でもあり、この雨と、テーマの水の信仰にふさわしいと思いました。  
と、生島足島神社の東側に延びる参道のレイライン(夏至の  
日の出と冬至の日没を結んだ線)にならり、さらに西側(正内)  
から、泥宮を一直線に結んだ道路があった事。  
この泥宮の東側にた島居の真中に高帽子岳があり、その  
頂上から夏至の太陽が昇り、冬至の日没は、泥宮のお堂の  
格子戸に射し込む。とお話したら、この日没を体験したく  
天気の良い12月20日(A)におかけで、見ることが出来ました。  
まじい、泥宮が貴重な場所、「太陽と大地、水の聖地」  
と体験いたしました。

他にも、中禅寺の薬師如来、坐像を特別にお計らいで  
見せていただきました。塩野神社でも興味深いお話が聞  
けました。とりこは橋のような幽幻の鹽が淵で、  
小川の蛇骨石も拾いました。

今日の講習会もたいへん楽しく、たくさんのお話をありがとうございました。

企画していただき本当にありがとうございました。

森 由美子